



令和6年度 学校評価アンケートの集計結果

保護者の皆様へ

12月に学校評価アンケートを実施したところ、多くの保護者の皆様にご協力いただきありがとうございました。本年度は昨年度に実施した各種行事の運営方法の工夫、見直しを通して明らかになった課題を解消すべく、更なる改善を試みました。5月には各学年の発達段階に心して行き先を決め、徒歩による遠足を実施しました。新しい友達と声を掛け合いながら一緒に歩いたり、レクリエーションを行ったりして、良好な人間関係の構築に努めました。10月の秋空の下に行われた運動会では、全校児童が紅白に分かれ、力を合わせて競い合う「大玉送り」を新たに取り入れました。子供たちの最高潮の盛り上がり笑顔が見られました。音楽発表会では、各学年で歌や合奏の披露だけでなく、演出や衣装にも工夫を凝らした発表が見られ、3年目の充実を感じました。

さて、今年度いただいた評価の結果を真摯に受け止め、学校力の向上、一人一人の教師の力量アップ、家庭や地域との連携を高めていく努力をまいります。

以下、A=「よくあてはまる」と、B=「ややあてはまる」を合わせた割合が、80%を下回る項目の中で、特に改善が必要と考えている点について述べます。

3 お子さんは、進んで挨拶をしていますか。 ⇒ 76% (-4ポイント)

昨年度は前年比+8ポイントと改善の評価をいただきましたが、今年度は-4ポイントの評価をいただきました。このことを真摯に受け止め、改善を図っていかねばならないと考えます。校内では、代表委員会が定期的に「あいさつ運動」に取り組んでおり、一定の成果をあげています。ただ、挨拶の励行の高まりも一時的なものに留まり、日常化するまでには至っていないと言えます。そのため、子供たち自身の評価でも-3ポイントとなりました。細川小学校で「明るく、気持ちのよい挨拶」が日常化するよう、私たち教職員が、今以上に積極的に明るく元気に挨拶を行って範を示し、活気ある雰囲気作りに努めていきます。

12 学校は、基礎・基本の力を身に付ける教育に力を入れていると思いますか。

⇒ 87% (-4ポイント)

アンケートの項目では、上記3の項目以外は80%を下回る評価をいただいたものではありませんでしたが、前年度と比較して、大きく評価を落とした項目として取り上げました。このことを真摯に受け止め、教師個々の授業力向上を図るとともに、お子様の基礎・基本の力の定着に努めていきます。

令和6年度 生活についてのアンケートの集計結果

細川っ子のみなさんへ

今年度は学年ごとに行き先を決めて行った徒歩遠足をはじめ、多くの行事を行うことができました。「運動会」や、「音楽発表会」など、それぞれの場面で一人一人の笑顔と精一杯がんばる真剣な姿を披露することができ、大変立派だったと思います。

ここで昨年12月に行ったアンケートの結果を紹介し、次年度への見直しをみなさんと一緒に進めていこうと考えています。先生たちも改善すべきところを改善し、細川っ子がますますたくましく、やさしい子に育つように努力を重ねていきます。みなさんも学校をよくするための声をたくさん聞かせてください。一緒に力を合わせてがんばりましょう。以下、同様です。

6 授業では、すすんで自分の意見や感想を発表している。 ⇒ 77% (+7ポイント)

今年度の最も大きな課題として取り組んだ項目です。細川小学校では、皆さんの「伝える力」を伸ばすことを目標に、全学級でチーム学習やスピーチタイムに力を入れて取り組みました。そのため、自分の意見や感想を発表することに対して安心感がもてるようになったと考えます。「授業は分かりやすく、楽しい」と感じている子も増えていきます(91% +4ポイント)。

8 本を読んでいる。 ⇒ 75% (-1ポイント)

中放課、昼放課に図書室が解放され、図書室の本を借りて読む機会が増えました。また、朝の読書の時間の確保や読書週間の充実にも努めて来ましたが、今後は読書に対する興味関心を高めるためにも、更なる図書室の環境整備や蔵書の充実に努めていきます。